



リゲティ生誕100年、ラフマニノフ生誕150年、ロマンの断絶を超えて



山本 準 Jun YAMAMOTO

ピアノを飯田喬子、作曲を野田暉行に師事。テルミン奏者三毛子の伴奏者として活動中。1982年から1987年まで、クロスオーバー・バンド、Landscape 主宰。2016年に「戦争が廊下の奥に立ってゐた〜渡辺白泉の句による〜トランペット独奏のための」が曽我部清典氏により初演され、作曲活動を開始した。日本作曲家協議会会員、オーケストラプロジェクト会員、作曲家集団アルビレオ会員、日本音楽作家団体協議会(FCA)監事。

■作品リスト

- 2017年「3つのアラベスク〜弦楽四重奏のための」/「写像ハーブ〜ハーブ独奏のための」/『神は我がやぐら』によるバラフレーズ〜金管合奏とオルガンのための
- 2018年「『ポツダム宣言』〜バリトン、トランペット、ピアノのための」/「百鬼夜行〜和洋楽器による六重奏」/「セピア色のバラード〜トランペットとヴィブラフォンのための」/「コラージュ〜浦賀から真珠湾へ〜双子座三重奏のための」
- 2019年「De Vulkanen (火山群)〜トランペットとオルガンのための」/「銀朱の風〜ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための」
- 2020年「“Rainfall Shuffle”〜三人の打楽器奏者のための」/「ヴォカリーズ〜ソプラノとピアノのための」/「鳥はいまどこを飛ぶか〜吹奏楽のための」
- 2021年「為了明天〜クラリネット、ヴァイオリン、ピアノのための」
- 2022年「心象 I〜弦楽四重奏のための」/「ディガンマ〜オーケストラのための」
- 2023年「いざ出でむ雪見にころぶ所まで〜邦楽七重奏のための」



中川俊郎 Toshio NAKAGAWA

1958年東京生まれ。作曲家・ピアニスト。桐朋学園大学作曲科卒業。作曲を三善晃、ピアノを末光勝世、森安耀子各氏に師事。70歳になるジョン・ケージを迎えて行われた「Music Today '82(武満徹企画構成)」の一環として開催された10周年記念国際作曲コンクールにおいて自作自演で第1位を受賞し、ケージにも高く評価される。1988年、村松賞、1993年、演奏・作曲家グループ「アール・レスピラン」の一員として第12回中島健蔵音楽賞、2009年、サントリー芸術財団主催で「作曲家の個展2009、中川俊郎」が開催され、その成果に対して、第28回中島健蔵音楽賞を受賞。他にCM音楽界においても「ACC賞」等受賞多数。

2005年、Trp. 曽我部清典、Bar. 松平敬とともに「双子座三重奏団」を結成。東芝EMIから、自作のサントリー「烏龍茶CM曲シリーズ」を収録したCD「chai」、「cocolon utao」などを、またフォンテックからCD管弦楽作品選集「沈黙の起源」、299 MUSICからピアノ作品集「メッセージ/佐藤祐介 × 中川俊郎」をリリース。カワイ音楽教育研究会機関誌「あんさんぶる」に、2010年から2018年に渡り付録曲を連載。現在、日本現代音楽協会理事、日本作曲家協議会常務理事、作曲家団体「深新會」副代表、お茶の水女子大学非常勤講師。

■主要作品

- 「合奏協奏曲第3番」管弦楽のための(2009)、「65のマイクロプレリュード」ピアノ連弾のための(2015)、「Dies irae(怒りの日) 独奏法螺貝のための(2021)」、雅楽「天門楽」(2006/2022) など。



鈴木理恵子 Rieko SUZUKI

東京藝術大学作曲科および同大学院修士課程作曲専攻修了。作曲を尾高惇忠氏に師事。ピアノを竹島悠紀子、西川秀人両氏らに、ピアノ伴奏法をマインハルト・プリンツ、コンラート・リヒター両氏らに師事。「現代音楽は難しい」という固定観念やコンサートにあまり足を運ばれないお客さまにも「おもしろい」と感じていただける曲作りを心がけている。

現在、TJK音楽教室、ピアノ・作曲講師。おとなとこどものためのピアノ講座、指導講師。混声合唱団海、音楽監督。混声合唱団もぐら、合唱指導・ピアニスト。日本作曲家協議会会員、全日本ピアノ指導者協会指導会員。

■主要作品

- 弦楽四重奏「リトグラフⅡ」1999、JFCより出版。フルート、ファゴットと打楽器「五角形のプリズムⅡ」2005。鼓、尺八とチェロ「真朱(まそほ)」2006、聴衆に選ばれて再演2007。二世宮下秀冽氏による委嘱、独奏箏「雪月花」2006。オーボエ、チェロと打楽器「風彩Ⅲ」2008。ヴァイオリンとピアノ「アーモンド・ブラリネ・ムーン」2010、JFCよりCD出版。アルトサクソとピアノ「三日月に照らされて」2011。12声による声楽アンサンブル「2つのたんぽぽ」2013。混声合唱とピアノ「もぐらのお稽古」2014。フルート、チェロと茶道「一期一会」2016。鼓、尺八とオーケストラ「風神雷神門」2017。ソプラノとピアノ「木漏れ日」2019。ピアノ連弾「お星さまたべちゃった」2021、カワイより出版。混声合唱とピアノ「海の出逢い」2022。ヴァイオリンソロと室内オーケストラ「あゆちの鐘、そして風が」2022、など好評を博す。



小栗克裕 Katsuhiro OGURI

山梨県甲府市生まれ。東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修了。安宅賞受賞、神奈川県芸術祭創作合唱コンクール1位、IMC国際作曲家会議入賞、吹田音楽コンクール作曲部門1位受賞、文化庁舞台芸術創作奨励賞佳作入選、日本交響楽振興財団作曲賞、日本財団賞、第4回ヒナステラ国際作曲コンクール第1位受賞など、管弦楽作品において数々の受賞。《小栗克己混声合唱曲集》、《混声合唱とピアノのための「Lacrimosa」/無伴奏混声合唱組曲「碧の地平」》、《女声合唱組曲「ほたるは星になった」》、《ピアノのための組曲「水の彩る風景」》第1集、及び第2集〜海に寄せて〜、《混声合唱組曲「ほたるは星になった」》などを出版。その他、合唱作品やさまざまな楽器による編曲も多数出版。また日本語による日本初のオペラと言われる「細川ガラシア」(ドン・チマッティ作曲)1940年復刻版の補筆、およびオーケストレーションを手がける。ジョバンニ・レコードよりCD「ほたるは星になった」小栗克裕混声合唱作品集(邦人合唱曲選集)が発売。現在、聖徳大学音楽学部、及び大学院音楽文化研究科准教授、日本作曲家協議会会員、全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)正会員。作曲を野田暉行、黛敏郎、三善晃、理論を尾高惇忠、島岡譲、ピアノをアンリエット・ピュグ・ロジェ、ダルトン・ボールドウィン、松谷翠各氏に師事。

■主要作品

- バイオリン協奏曲(1982)、ピアノ協奏曲(1988)、チェロ協奏曲(1995)、ヴァイオリン協奏曲(1996)、管弦楽のための「ディストラクション(Destruction)」(1996)、「アンティエンス」交響曲(1999)、など。

東京オペラシティ コンサートホール  
http://www.operacity.jp/

〒163-1403新宿区西新宿3-20-2 03-5353-0788

【電車】京王新線(都営地下鉄新宿線乗り入れ)初台駅東口下車 徒歩5分以内  
都営地下鉄大江戸線 西新宿五丁目駅 A2出口より徒歩約17分

小田急線 参宮橋駅より徒歩約14分

【バス】新宿駅西口よりバス約10分(京王バス:宿41/宿45[幡ヶ谷不動尊]下車)

渋谷駅西口バスターミナルよりバス約20分

(京王バス:渋谷64[東京オペラシティ]下車)(京王バス:渋谷63/渋谷66 都営バス:渋谷66[東京オペラシティ南]下車)